

質 問 書

この質問書は、提出された申請の審査のために答えていただくものであり、**重要な参考資料**となります。回答に当たっては、各質問について該当するものにチェック☑又は○印で囲み、その他記入部分については、できるだけ具体的に、かつ詳しく記載・説明願います。

なお、事実と反する記入をしたことが判明した場合には審査上不利な扱いを受ける場合がありますので、ご留意下さい。

【記入に際しての説明】

※申請人（相手の方）とは、これから入国・在留のための審査を受ける外国人（我が国に滞在を希望する外国人）を指します。

※配偶者（あなた）とは、上記申請人と婚姻している日本人又は外国人を指します。

1 お互いの身分事項について記入して下さい。日本国籍の方につきましてはフリガナをお願いします。

申 請 人	国 籍	氏 名	男
	中国	ローマ字（+漢字名）	女

配 偶 者	氏 名		フリガナ ニュウカン タロウ 入 管 太 郎	国籍	日本	
	自 宅	住 所	東京都港区港南 5-5-30			
		電 話	自宅 XX-XXXX-XXXX	携帯 XX-XXXX-XXXX		
	同 居 者 の 有 無	同居者の有無 ☐ 無 ☒ 有 （氏名 入管花子（母））				
		☐ 自己所有 ☒ 借家 家賃 8万 円 2 LDK				
	職 場	会社名	〇〇株式会社 職務内容 総務			
		所在地	東京都〇〇区〇〇 X-X-XX			
		電 話	XX-XXXX-XXXX	就職年月日	XXXX 年 X 月 X 日	

2 結婚に至った経緯（いきさつ）についてお尋ねします。

（１） 初めて知り合った時期，場所や結婚までのいきさつを記入して下さい。

① 初めて会った時期： XXXX 年 X 月 X 日

場所： 例：〇〇市内のレストラン〇〇

② 初めて会ってから（紹介により知り合われた方は，紹介されたいきさつから）結婚届を出されるまでのいきさつを，年月日を示しながら，できるだけ詳しく記載してください。

なお，行数が足りないときは，適宜の用紙を使用し記載していただいて結構です。また，説明に関連する写真・手紙や国際電話の利用などを証明するものを添付されても結構です。

別紙に記載しました

ここがポイント

結婚に至ったいきさつは「婚姻が実体を伴うもの（審査要領）」かどうかの重要な判断資料のひとつです。ですので、別紙（A4）にワープロなどで十分推敲しながら書くことをお勧めします。

どのように書くかは上記②に説明があります。これについてわたしは次のように解釈しています。

1. 「年月日を示しながら」

これは時の経過順（時系列）に書いてほしいという意味。書かれた内容が時間的に前後すると非常に読みにくくなるからです。要するに、読みやすい文章を書いてほしいということです。

2. 「できるだけ詳しく」

具体的なエピソードを書いてほしいという意味。当事者でなくても書ける当たり障りのない内容ばかりでは信頼性に欠けるということ暗にいつています。

3. 「行数が足りないときは」

ここでの行数では書ききれないくらいの文書量を期待していますという意味。

4. 「証明するものを添付されても結構です」

証明できるものがあればできるだけ添付しなさい、という意味。内容を裏付けるものがないと信頼性に欠けるということをいつています。

ここがポイント 紹介者がいた場合の記載例です。紹介者や結婚相談所による紹介だからといって審査上とくに不利になるという印象は経験上ありません。**出合いのきっかけよりも、むしろ出会ってからの交流の濃淡が重視**されます。

(2) 紹介者の有無などについて

☐ 無

☒ 有 (結婚相談所による紹介の場合は、氏名欄に会社名を記載して下さい。)

紹介者：国 籍：日本

氏 名：〇〇 〇〇 (男・女)

生年月日：XXXX 年 X 月 X 日

住 所：東京都〇〇区〇〇 X-X-XX

電話番号：XXX-XXXX-XXXX

外国人の方の場合は外国人登録番号⑧第 AB XXXXXXXXXX CD

紹介された年月日、場所および方法

年 月 日：XXXX 年 X 月 X 日

場 所：例：紹介者の自宅、〇〇市内のレストランなど

方 法：☐ 写真 ☐ 電話 ☒ 対面 ☐ E-mail

☐ その他 ()

紹介者と申請人 (相手の方) との関係 (詳しく記載して下さい):

別紙に記載しました

紹介者と配偶者 (あなた) との関係 (詳しく記載

別紙に記載しました

ここがポイント 二人の間に立った方が複数いる場合、文章だけではなかなか正確に伝わらないことがあります。このような場合、**別紙として関係図と説明文を提出する**方法もあります。なお、「詳しく」と繰り返し書かれていることからみて、入管の関心が高い質問と考えられます。

*紹介者との関係は、単に友人・知人と記載するのではなく、どのような関係か詳しく記載してください。

3 夫婦間の会話で使われている言語についてお尋ねします。

(1) 日常、ご夫婦の会話に使われている言葉 (例えば、中国語、日本語等) は何ですか。

例：日本語

(2) お互いの母 (国) 語は何ですか。

- ① 申請人 (お相手の方) 例：中国 語
- ② 配偶者 (あなた) 例：日本 語

ここがポイント 意思疎通がどの程度できるかは重要です。入管では、電話の通話時間や申請人からの手紙が日本語で書かれているかどうかも含めて調査します。ごくまれに、申請人に電話をかけることもあります。

ここがポイント お互いに「筆談／あいさつ程度」では審査は厳しくなります。夫婦として生活する以上、一定の水準の語学力が求められます。また、通訳など周りのサポートが期待できるのであれば積極的にアピールすることも必要です。

(3) 申請人（お相手の方）は、配偶者（あなた）の母国語をどの程度理解できますか。

- ☐ 難しい＝通訳が必要 ☐ 筆談／あいさつ程度
☐ 日常会話程度は可能 ☐ 会話に支障なし

(4) 配偶者（あなた）は、申請人（お相手の方）の母国語をどの程度理解できますか。

- ☐ 難しい＝通訳が必要 ☐ 筆談／あいさつ程度
☐ 日常会話程度は可能 ☐ 会話に支障なし

(5) 申請人（お相手の方）が日本語を理解できる場合は、いつ、どのように学んだのか、具体的に記載して下さい。

（例）XXXX年XX月から日本語学校で学んでいる（日本語学校の学習証明を提出）

（例）日本のアニメが好きで覚えた。（例）在日歴がある。

（例）教材を送って電話やスカイプ等で教えている。（電話履歴などを提出）

裏付けとなる証拠を出せる場合はできるだけ提出してください。

(6) お互いの言葉が通じない場合、どのような方法で、意思の疎通を図っていますか。

【方法】：

（例）電子辞書、翻訳アプリ、ジェスチャー、筆談、通訳者など、手段はさまざまですが、具体的に書いてください。

【通訳者がいた（いる）場合】

- ① 通訳者の氏名： _____
② 通訳者の国籍： _____
③ 通訳者の住所： _____

4 日本国内で結婚された方は、結婚届出時の証人2名を記入して下さい。

(1) 氏名： _____ (男・女)

住所： _____

電話： _____

(2) 氏名： _____ (男・女)

住所： _____

電話： _____

5 結婚式（披露宴）を行った方は、その年月日と場所等を記入してください。

年月日： XXXX 年 X 月 X 日

場 所： 国名、都市名、ホテル名又はレストラン名まで

出席者：申請人側 父 母 兄 弟 姉 妹 子

配偶者側 父 母 兄 弟 姉 妹 子

双方の出席者 計 10 人

ここがポイント 披露宴や親族で会食をしている場合はスナップ写真を提出したほうがよいでしょう。

6 結婚歴についてお尋ねします。

申請人（お相手の方）：☒初婚

☐再婚（ 回目）

前回の結婚は 年 月 日～ 年 月 日

（☐離婚 ☐死別）

配偶者（あなた）：☐初婚

☒再婚（ 1 回目）

前回の結婚は XXXX 年 X 月 X 日～ XXXX 年 X 月 X 日

（☒離婚 ☐死別）

7 申請人（お相手の方）がこれまでに来日されているときは、その回数と時期を記入して下さい。

（1）回数 1 回

（2）時期

来日目的（観光・仕事等）

① XXXX 年 X 月 X 日～ XXXX 年 X 月 X 日（ 観光 ）

② 年 月 日～ 年 月 日（ ）

③ 年 月 日～ 年 月 日（ ）

④ 年 月 日～ 年 月 日（ ）

⑤ 年 月 日～ 年 月 日（ ）

※多数の場合は直近の渡航歴を記載願います。

8 配偶者（あなた）がこれまでに申請人の母国に行かれているときは、その回数と時期を記入してください。

を記入して下さい。

期間： 年 月 日 ～ 年 月 日

住所：

11 申請人（お相手の方）と配偶者（あなた）の親族について記入して下さい。

※日本に居住している方の電話番号は可能な限り記入して下さい。 父母がお亡くなりになっている場合には、「住所欄」に「死亡」と記載して下さい。お子さんについては、（２）の表に記載して下さい。**お子さんがいない場合は、「なし」と記載して下さい。**

（１）父・母・兄弟・姉妹について記載して下さい。

	続柄	氏 名	年齢	住 所	電話番号
	【記載例】 父	入管太郎	6 2	東京都千代田区×× 1-2-301	03-▽△-××××
夫 の 親 族	父	入管 一郎		死亡	
	母	入管 花子	XX	東京都〇〇区〇〇 X-X-XX	XX-XXXX-XXXX
	弟	入管 次郎	XX	同上	同上
	ここがポイント 兄弟姉妹の中に長期にわたって音信不通のかたがいたケースでは、住所欄に「音信不通のため不明」と記載したことがあります。結婚を知らせていないからなどの理由で、兄弟姉妹を記載しないのは問題です。				
	【記載例】 父	Nyukan James V.	6 2	New York, U.S.A（都市名まで）	××××-12-〇〇-345
妻 の 親 族	父	〇 〇 〇	XX	中国 〇〇省 〇〇県	XXXXXXXXXX
	母	〇 〇 〇		死亡	
	ここがポイント 外国人の名前は何度も見直して正確に記載してください。とくに、父、母、実子の名前に誤りがあると、申請人が別人ではないかと疑われかねません。				

(2) お子さんについて記載して下さい。

続柄	氏 名	生年月日	住 所
【記載例】 夫の長男	入管三郎	1975.11.19	埼玉県さいたま市×× 9-8-7
妻の長女	Nyukan Mary C	1999.12.15	New York, U.S.A (都市名まで)
妻の長女	○ ○ ○	XXXX. XX. XX	中国、○○省 ○○県
	以下余白		
ここがポイント お子さんがある場合は必ず記載してください。あとになって、お子さんを日本に呼び寄せる場合に虚偽の記載として後日問題になることがあります。提出した資料はすべて光ディスクで入管に保管されています。なお、お子さんがいるという理由で審査が厳しくなるという噂がありますが通常考えられません。			

12 親族で今回のご結婚を知っている方はどなたですか。

(該当するところを○で囲んで下さい。)

夫側： 父 ○母○ 兄 ○弟○ 姉 妹 子
 妻側： ○父○ 母 兄 弟 姉 妹 ○子○

以上のとおり、記載内容に相違ありません。

平成 年 月 日

署 名： _____

(注) 事実と異なる記入をしたことが判明した場合は、審査上不利な扱いを受ける場合があります。